

パズルを楽しもう！

新型コロナウイルスの影響で、子ども達も外に出られず家で過ごす事が多くなっています。

そんな時に、パズル遊びはいかがでしょうか？

パズル遊びは様々な効果があると言われています。

例えば、どのピースが当てはまるかを考え、形や柄のつながりをじっくりと観察する力、観察から得たヒントを基に、どのピースが当てはまるか想像する力、完成させるまで夢中になる集中力など得られる効果はたくさんあります。

また、パズルをつまむという動作をする事で手指が刺激され、器用さだけでなく、脳への刺激を与え、より発達を促す事が出来ます。

では、乳児期からどのようなものを用意すると良いのかをご紹介します。

パズルには、ジグソーパズルだけではなく、いろいろな種類のものがあります。

1歳頃の子どもにおすすめは「型はめパズル」。

簡単な形を決められた場所に当てはめていくパズルです。少し出来るようになってきたら、「キューブパズル」もおすすめです！6面体それぞれに絵柄が描かれていて、1つ買えば6種類の絵柄が出来ます。

3、4歳くらいには、「タンگرام」というパズルも楽しめます。

シルエットパズルのひとつで、正方形を7つに切り分けたものを使って、形を作って遊ぶパズルです。パズルを回転させたり、ひっくり返したりしながら形を作る事で考える力や創意工夫する力が養われます。

5歳以上になれば、ピース数の多いものにチャレンジしてみると良いですね。

ピース数だけでなく、絵柄が複雑なものや立体化されたものもあります。

立体構成を考えると空間認知能力が養われるのでお勧めです。

パズル嫌いにならないように、「無理にさせない」「出来たら褒める！」「なるべく一緒に遊ぶ」と気長に見守ってあげてくださいね。



型はめパズル



キューブパズル



タンگرام



